

知的障害者で認知症を罹患した人、又はその疑いのある人の行動・心理症状(B P S D)について、その行動背景要因をチェックし、具体的な支援を考える研修会

開催期日 令和5年 3月 4日(土)

会 場 A N Aクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

主 催 ひのくに知的障害児者生活サポート協会

共 催 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

◆知的障害者で認知症を罹患した人、又はその疑いのある人の行動・心理症状（BPSD）について、その行動背景要因をチェックし、具体的な支援を考える研修会◆

1. はじめに・趣 旨

知的障害者で認知症に罹患した、又はその疑いのある人は増えており、その人たちを支える職員や介護者は、①物忘れや判断能力の低下、脳神経の低下を直接示す中核症状と、②それに伴って現れる心理・行動面の症状である BPSD や、③周囲から入ってくるさまざまな刺激や情報が理解または処理できないことが原因であったり、物事を伝えたいが上手く伝わらなかったり、伝える手段がないことが主な原因となって現れる行動障害等の対応とその支援について、日々悩みながら支援にあたっています。

本研修会は、昨年 12 月に行った「NPI-ID」を用いた評価、支援プログラムに変わり、「NPI-NH」（施設の介護・看護を毎日行っている介護者を対象とし、質問し評価するもの）評価システムを各法人で導入し、それをベースにケアプログラムに繋げていくための研修会です。

NPI プログラムを作った BPSD レジストリは、知的障害者でない人が認知症に罹患して起こる BPSD の諸症状の軽減を探るものであり、2010 年にスウェーデンで開発され実用化された行動・心理症状の国際的なプログラムです。

日本では、これを用いて東京都の東京都医学総合研究所が中心となって、開発した「DEMBASE」という認知症のケアシステムの導入がすでに始まっています。

知的障害者では、2016 年にスウェーデンで挑戦的な行動を減らし、防止し、保護と制限措置の使用を減らすことを目的として、「FUNCA」という名称で一部導入されています。

日本では、2018 年に建築家の松村正希氏がスウェーデンで「FUNCA」のレクチャーを受けて日本に持ち帰り、翌年に障害者支援に携わっている人たちとスウェーデンに視察研修に赴いており、その後、視察研修に行った人たちが中心となり、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園（以下、のぞみの園と明記）と「NPI」等の支援システムが知的障害者の現場で活用できるか共同研究を行ってきました。

一方では、のぞみの園が中心となり、厚生労働科学研究「知的障害者の高齢化により状態像の変化に係るアセスメントと支援方法に関するマニュアル作成のための研究」がなされ、令和 4 年 5 月にはその成果が発表された経緯があります。

研修会では、「NPI-NH」の支援システムの解説と現場への普及の中に出てくる環境調整等の在り方についても考えていきます。

- | | |
|--------|---------------------------|
| 2. 主催者 | ひのくに知的障害児者生活サポート協会 |
| 3. 共催者 | 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 |
| 4. 主 管 | 第二つつじヶ丘学園 |
| 5. 後 援 | 公益財団法人日本知的障害者福祉協会 |

一般社団法人日本知的障害児者生活サポート協会
九州地区知的障害者福祉協会
熊本県知的障がい者施設協会
熊本県手をつなぐ育成会
熊本県知的障がい児者施設家族会連合会

6. 開催期日 令和5年3月4日(土)

7. 開催場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ「ストリングスA」
熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地
電話096-354-2111
※JR九州「熊本駅」からタクシーで3分
※熊本阿蘇空港よりリムジンにて45分
研修会場前バス停「ホテル熊本ニュースカイ前」下車

8. 参加対象者 1. 知的障害児者施設職員及びその家族
2. 知的障害児者生活サポート協会会員

9. 参加定員 100名

10. 参加費 8,000円

11. スケジュール 開会9:30～～閉会 18:30

12. 日程

3月4日(土) 9時受付開始

挨拶と経過 9:30～9:45	講演Ⅰ 9:45～10:30	休憩 10分	講演Ⅱ 10:40～12:00	昼食 休憩 60分	講演Ⅲ 13:00～14:20	休憩 10分
--------------------	-------------------	-----------	--------------------	-----------------	--------------------	-----------

講演Ⅳ 14:30～15:30	休憩 10分	講演Ⅴ 15:40～16:30	休憩 10分	講演Ⅵ パネルディスカッション 16:40～18:30
--------------------	-----------	--------------------	-----------	-----------------------------------

挨拶

○主催者挨拶 ひのくに知的障害児者生活サポート協会理事長
社会福祉法人つつじヶ丘学園 理事長 栗崎英雄氏

講演Ⅰ 講師:厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
地域生活支援推進室 虐待防止専門官／障害福祉専門官（知的障害者担当）
松崎貴之氏

テーマ：「高齢障害者への支援」

障害者総合支援法の改正内容(障害者の地域生活や就労の支援、障害者グループホームの定義変更等)に触れながら高齢障害者の支援についての国の考え方。

講演Ⅱ 講師:国立大学法人 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻精神看護学分野
准教授 中西三春氏

テーマ：「認知症に罹患した人に起こる BPSD 等に対して、DEMBASE の支援プログラムを使ったメリット及びデメリットと支援の効果」

東京都が開発した「日本版 BPSD ケアプログラム」(オンラインシステム DEMBASE)の開発の中心メンバーとして、認知症の定義から入り、行動心理症状の捉え方、それに対する評価と具体的ケアの手法について具体的内容を説明、今日までの実績から強く見えて来た支援員の対応力等の重要性などにも触れながら、プログラム普及とフォローアップ研修などについて。

講演Ⅲ 講師:社会福祉法人旭川走（総合研究所特別研究部門）
特別研究部門 研究員 桑野良三氏

テーマ：「知的障害者の認知症診断基準について」

なぜ、今、認知症なのか、知的障害と認知症、認知機能テスト、知的障害の有る人の認知症は診断できるのか(DSQIID)を通して、アルツハイマー症とダウン症候群、生活習慣と認知症、ダイバシティとは

講演Ⅳ 講師：独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
研究部研究科研究係 村岡美幸氏

テーマ：「知的障がい者認知症ケアプログラムと活用事例」

知的障害の有る方の認知症について、その発症状況、BPSD とは、認知症になった時の気づきにくさ、認知症かなと思った利用者の行動変化に気付く、DSQIID について、ケアプログラムについて、ICF での情報整理を、プログラムの使い方、NPI-NH について、状態の可視化を図る、ケアプログラムの使い方と実施上のポイント

実践事例について紹介

講演Ⅴ 講師:株式会社莫設計同人 代表取締役 松村正希氏

テーマ:「知的障がい(認知症・行動障害)を伴う人の行動変化と環境・暮らしについて」

生きるという事、居場所づくり、認知症、行動障害等に対応する建築・環境(物理的構造化、視覚的構造化)、行動障害と環境

講演Ⅵ パネルディスカッション

テーマ:「知的障害者のケアプログラムを実施して」

～有用性及びその感想・今後について～

コーディネーター

社会福祉法人のぞみの家福祉会

副理事長

樺沢 浩氏

パネラー

1. 「知的障害者のケアプログラムを実施して～有用性及び乾燥・今後について～」

・社会福祉法人山陰会 普賢学園 施設長 本田尚久氏

2. 「高齢知的障害者の認知症ケアプログラム実践報告」

・社会福祉法人のぞみの家福祉会 緑風園サビ管 居城慎也氏

3. 「NPI-NH 検査結果とケアプログラム実践を通して」

・社会福祉法人つつじヶ丘学園

第二つつじヶ丘学園サビ管 小吹太郎氏

※独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

研究部研究科研究係 村岡美幸氏

13. 参加申し込みについて

別紙にて、下記あて令和5年2月17日(金)までにファックスでお申し込みください。

〒868-0415

熊本県球磨郡あさぎり町免田西3003の56番地

第二つつじヶ丘学園

FAX 0966-45-5515

14. 参加費用の振り込みについて

下記口座へ振り込みをお願いします

銀行名：肥後銀行免田支店

預金種：普通預金 口座番号 1423587

口座名：ひのくに生活サポート協会 理事長 栗崎英雄

※振込は必ず施設名と参加者の氏名でお願いします。

※当日の昼食は弁当を準備いたします、又宿泊についてはご自身でご手配ください。

15. 個人情報の取り扱いについて

参加申し込み書に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的のみに使用いたします。本研修会では参加者名簿を作成しますが、それには施設名、役職名、氏名を掲載します。

「知的障害者で認知症を罹患した人、又はその疑いのある人の行動・心理症状 (BPSD) について、その行動背景要因をチェックし、具体的な支援を考える研修

参加申込書

FAX (第二つつじヶ丘学園)	0966-45-5515 送付状不要 2/17(金)迄
--------------------	-----------------------------

県名() 施設名()

施設名	職名	氏名(ふりがな)	参加費	備考
計 () 名		参加費合計 () 円		

※宿泊の必要な方はご自身でご手配いただきますようお願いいたします。

※事務局記入欄	No.	受付日	月	日	参加費確認： 済 ・ 未
---------	-----	-----	---	---	--------------

